

平成28年度

ちよつと  
いい話

岐阜県環境生活部 人権施策推進課





# 【おべこ】

## 【おかし州】

- 1 おだだなごわやわや
- 2 おつがやん
- 3 うかんのやちたな
- 4 おやんわと
- 5 なおあわごたやわ
- 6 がんせぞ かごんわんわん
- 7 ころかんのわんわん
- 8 かつんせわんわん
- 9 たごごんわんわん
- 10 わんわんわんわんわん
- 11 わんわんわんわんわん
- 12 おつがやんわんわん
- 13 こごんわんわんわん
- 14 おつわんわんわん
- 15 だんわんわんわん

うしろ

…  
16

たすけくれた

…  
17

やろつおねえさん、あつがうい

…  
18

図<sup>ず</sup>のクローバー

…  
19

「あつがうい」「いすもんだな

…  
20

らやないよを言<sup>こ</sup>わたた時<sup>とき</sup>

あつがういが汗<sup>あせ</sup>流<sup>なが</sup>してくれたよ

…  
21

しれしかつたあとい

…  
22

おたん生<sup>なま</sup>ロボン

…  
23

お母<sup>かあ</sup>さんのたんじゆび

…  
24

いぬ

…  
25

やろつをひいてかこやれただよ

…  
26

とじの赤<sup>あか</sup>ちゃん

…  
27

あつがういをもつてくれたよ

…  
28

やろつタオル

…  
29

助<sup>たす</sup>けるおねえさん

…  
30

電<sup>でん</sup>車<sup>しゃ</sup>の中<sup>なか</sup>の出<sup>で</sup>来<sup>き</sup>事<sup>じ</sup>

…  
31

落<sup>おち</sup>し物<sup>もの</sup>をひびけたよ

…  
32

3年2組の仲間達

おじいちゃんとおばあさんに歌を歌って

ないしょにしながらもい

バイバイ カメちゃん

やっぱり、大好きだよね

ゆずり合いの気持ち

感しゃ

最高のオレンジジュース

思いやり

先生とクラスのきずな

大わらい

大切な友達

弟の成長

忘れられない出来事

(無題)

おうちの外もピカピカにエコ活動?!

ゴミステーションを直す人たち

ゴミ拾い

…  
33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

ちよひとご話はなご

ときもみかたもない

ばんそつこつ

ま法の言葉まほうのこたばな

祭りまつりで

笑顔えがおになつたおじいちゃん

川かわがきれいに

選手せんしゅぎめ

大切な仲間なかくま

仲間のありがたさになかくまのありがたさに気づいた出来事きづいたできごと

町まちがきれいに

認知症にんちしんのおばあちゃんおばあちゃん

変われ!! 自分か じぶん

勇気ゆうきをくれたおばあさん

二人ふたりでつかんだ幸せしあわせ

おじいちゃんとのひととき

カツコイイおかあさん!

ガッツポーズでくれた勇気ガッツポーズでくれたゆうき

「しまった時に助けあげばいい年がくねん」

トイシの神様かみさま

ぼくの気持ち、わかってくねてくれ

一年生のがんばり

私のお姉ちゃん

助けた時のちよひのこと話たすけ

心があたたかくなる思いやりこころ

大好きなねこ

妹いもうと

(無題)

勇気を出したら笑顔になれたよゆうき

友達からのやさしめの言葉ともだち

## 「中学生」

一人の勇氣ひとり

握手あつかい

言葉の重みを教えてくれた彼女ことば

初めての人助けはじめて

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

人のために行える事がある

…  
85

待ち合わせ場所です…

…  
86

仲良く並んで帰った日

…  
87

年に一度のポカポカ

…  
88

僕の祖父

…  
89

あいらひの意味

…  
90

「あつがやん」の「言」だわね

…  
91

ただ「言」のあつがやんべ

…  
92

なにげなく褒つたわ

…  
93

元気のぞろ挨拶

…  
94

思いやりある言動

…  
95

私の家族

…  
96

声援

…  
97

不安も吹き飛ばす魔法の言葉

…  
98

歩いてきたおばあさん

…  
99

一生の宝物

…  
100

助けてくれたのは…

…  
101

心

…  
102



母の腕の中  
優しい車

104 103

「高校生」

突然の雨

⋮

お姉ちゃん

⋮

私のお弁当

⋮

やさしい妹

⋮

駅で会った外国人

⋮

優しい人

⋮

「一般」

ステキな小学生

⋮

ぞうきんがけ

⋮

112 111

110 109 108 107 106 105

# 小学生

あたたかいひとびと

ぼくのおかあさんのおなかには、あかちゃんがいいます。

このあいだ、でんしゃにのったときです。たくさんひとがいて、せきにすわれなかつたとき、おにいさんがこえをかけてくれました。

「このせきにすわってください。」とせきをゆずってくださいました。とてもうれしくて、「こころがあたたかくなりました。

かえりもすわれなかつたけど、おじいさんがゆずってくれて、「だいじにしてね。」とやさしいこえをかけてくれました。



# 小学生

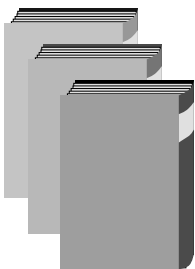
ありがとう

きょう、うがいのついでに、  
うがいを、

かえりに、ぼくが、  
このこと、  
に、となりのともだちが、  
ぼくのほんを  
くろを、いねやすらひに、  
ひんげん  
れたよ。

うれしかったよ。

ありがとう。



# 小学生命

## いもうととけんか

わたしは、いもうととよくけんかをしてしまいますが、けんかをしずにはたのしくあそんでいるときもたくさんあります。

けんかをしたとき、おかあさんがいつもいこうとばかりあります。

「せやっへすなよ、せやっへっへねるよ。」

きっとけんかをしないときは、わたしもいもうとも、やさしいからだとおもいます。

わたしは、たのしくあそんでいるときのほうが好きです。やさしいおねえちゃんになりたいです。



おとうさん

わたしのおとうさんは、おしごとのお  
わるじかんがおそいので、いつもわたし  
がねたあとにかえってきます。

このまえ、ひさしぶりにはやくしごと  
がおわってかえってきてくれました。

いっしょにあそんで、ごはんをたべま  
した。かぞくみんなが、そろってたべる  
ごはんは、とてもたのしくて、おいしか  
ったです。

おしごとをがんばってほしいけど、た  
まにははやくかえってきてね。



# 小学生命

かぜをひいたとき

わたしがかぜをひいたとき、おにいちゃんがかねつをはかってくれたり、おねえちゃんがぽかりをのませてくれました。

とてもうれしかったです。

おかげではやくなおりました。



# 小学生会

がんばれ かいそうさらだ

ぼくは、かいそうさらだが、にがてです。

きゅうしやくじでると、せんぶたべる  
ことができるか、あさからしんぱいにな  
ります。

きゅうしやくのじかに、しもたちが、  
「がんばれ」といってくれたのがうれし  
かったです。

あさ、おかあさんが、おまもりをつく  
ってくれたのもうれしかったです。

ゆうきがでて、せんぶたべることがで  
きました。



しんせつないじふ

かぞくでえいがをみにいったとき、わたしは、えいがかんのトイレにたいせつなポシエットをわすれました。

かえるときにきづきました。

えいがかんのひとにききにいったら、わすれものでとどいていました。

たいせつなものがみつかってうれしかったです。

わたしは、とどけてくれたひとに「ありがとうございます」いたくなりました。

わたしもしんせつなところをもちたいとおもいました。





すりっぱならいへ

わたしは、しんたいそうをならっています。たいいくかんにはおおきなといれがあつて、そのすりっぱはいつもきれいにそろっています。

このまえ、といれにいったとき、せんしゅのおねえさんが、みんなのぶんまですりっぱをそろえていました。

おねえさんのおかげで、わたしはいつもすりっぱをきもちよくはくことができています。

じぶんのことだけでなく、まわりのひとのことをかんがえているおねえさんを見ならいたいです。



# 小学生

たのしいとこうはん

わたしは、1ねんせいです。4がつから、20ぶんかけてがっこうへかよっています。

にもつがおおいひや、あめのひもあります。そんなときは、とこうはんのみんなが、にもつをもってくれたり、ゆっくりあるいてくれたりします。

そのおかげで、まいにちたのしくかよえます。みんなありがとう。

わたしも、らいねんは2ねんせいです。みんなみたいなやさしいおねえさんになりたいです。



# 小学生

であったじゅば であったひじ

ぼくは、たんたんのにじゅばがすきです。  
おともだちじ、「あそぼ。」、「だいじょ  
うぶ。」、「またあしたね。」、「こんなじゅば  
がだいすきです。じゅばうれしいきもち  
になります。」

おかいものじゅじ、「おおきくなった  
ね。」じ、「じゅじえをかけてくれるてん  
いんさん。」げんちからじ、「じゅ、じゅをか  
けてくれるおじいさん。」

ぼくは、ちゅうじゅばかじゅばがある  
けじ、じゅじゅわじゅもなじゅばです。  
ぼくがであった、だじゅばなじゅばじゅ  
す。



# 小学生命

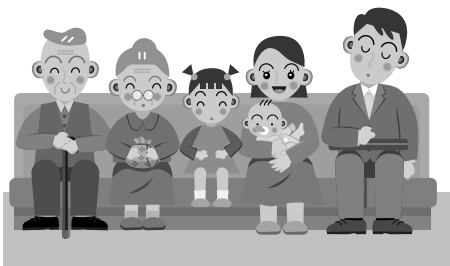
びょういんのまちあいしつ

びょういんのまちあいしつは、いつも  
まっているひとでいっぱい。

びょういんにきているひとたちは、け  
がをしたり、びょうきをしているひとた  
ちなのに、わたしやもっとちいさいこが  
くるとかならずだれかがせきをゆずって  
くれます。

そういうときは、ちゃんと「ありがと  
う」といえるようになりたいです。

わたしもおおきくなったら、まわりの  
ひとにやさしくできるとなりたいで  
す。



ありがとうってうれしいね

おとうさんが早くかえってきた日は、  
おぶろにいっしょに入るはさんことがありま  
す。

おとうさんは、わたしのかみの毛けをあら  
ってくれて、「かゆいところはないです  
か。」と聞きいてくれます。

おれいにわたしもおとうさんのかみの  
毛けをあらってあげました。

そしたら、「ありがとう。気きもちいい  
よ。」「ううれいそうに言いってくれました。  
わたしもうれしくなって、「またあらっ  
てあげるね。」「と言いいました。



# 小学生

いっしょに遊ぼう

ある休み時間やすみじかんのとき、わたしがひとり  
であるといると、〇〇さんが「いっ  
しょに遊ぼうよ。」と言いってくれました。  
た。

わたしは、すなおに「ごめん。」と言い  
ました。すると、〇〇さんは「いっしょ  
してくれたので、しゅごいねえよ。」と  
もたのしくできました。手てもびんびんにあ  
げました。

なので、わたしも、〇〇さんのように  
いっしょに遊ぼうよ。」と言いって  
あげよう。」と言いて、みんなとな  
かよくなるよ。」と思おもいました。





## カブト虫とおじいさん

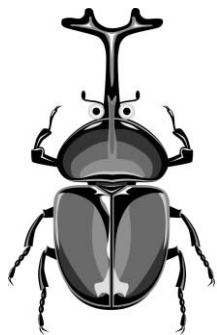
わたしは、ラジオ体たいそのあとにおじいさんからカブト虫むしをもらいました。もの木きにきたと聞いたので「ももたろう」と名前なまえをつけました。

また、ちがう日ひにおじいさんに会あいました。わたしのかおをおぼえてくれていて話はなしてくれました。

わたしもうれしくて名前なまえをつけたことやおせわをしていることことを話はなしました。

はじめは知らしないおじいさんでしたが、やさしくしてくれてうれしかったです。

ちいきの人とのつながりを大たいせつにしたいです





しゅめい

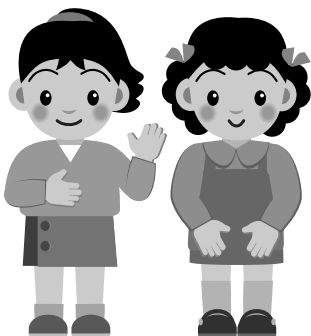
わたしが、一年生のころ、じぶんから声をかけられないときAちゃんが「いっよにあそぼうよ。」「いってくれまして」。

そうして、がっこうでいっばいおともだちがふえてうれしかったです。

三学きがおわるときのげん気っこのときAちゃんが「わたしたちクラスがちがってもずっとしんゆうだよ。」「いってくれました」。

わたしも、「うん、そうだね。」「といいました」。

一年生にはいるころ、クラスがちがったけれど、わたしたちは今もしんゆうです。



# 小学生

たすけてくれた

ひる休みに学やすきがゆうであそんでいたと  
きに、友ともだちとぶつかって、ないちゃっ  
たらクラスの子こたちやまわりにいた人ひとた  
ちが「だいじょうぶ。」と声こゑをかけてくれ  
たので、長ながしま小しょう学がく校こうの子こたちはやさし  
いなあと思いました。



# 小学生

やさしいおねえさん、ありがとうございます。

わたしは、けんばんハーモニカをおにいちゃんといっしょにつかっています。

ある日、6年生のおにいちゃんおにいちゃんの教しつにとりに行きました。ところがおにいちゃんはいませんでした。

わたしが

「どうしようかなあ。」

とじまっていたら、

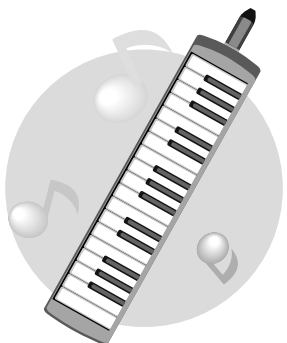
6年生のおねえさんおねえさんが、

「どうしたの。」と聞きいてくわて、

「じいじあぬがら、じいじらってらってら

あ。」「と聞いてくわてあつた。

たすけてくわて、うわしかったです。  
ありがとうございます。



## 四つばのクローバー

さいきん、げんきがなかったおばあさん。とつぜん、びょういんに入いいんすることになりました。

しんぱいしたぼくは、あつなかい中、四つばのクローバーをさがしに行いき、みつけることができました。

そして、びょういんにもって行いくと、おばあさんがとてもよろこんでくれました。

おかげで早くたいいんすることができましたのでよかったです。



# 小学生

「ありがとう」ってすてきだな

わたしは、三年生さんねんせいになった時とき、母かさんと父とさんとやき肉屋にくやさんに行いきました。

いろいろなお肉にくを食たべました。

帰かえって、家いえについたときに、わたしは、

「ありがとう。」と父とさんに言いいました。

そのあと父とさんが、「Aは、すぐありがとう」と言いえていいな。」と言いいました。

そう言いわれたあと、

わたしは、「ありがとう。」ってすてきだおなと思おもいました。

とても心こころが、ポカポカしました。

わたしは、「ありがとう。」というこおとばが、すてきだおな思おもいとましました。



いやなことを言われた時、

友だちが注意してくれたよ

わたしがそうじをしていた時に、

「わたしがこれをもっていく。」

と言ったら、

「わたし先に見つけたんだよ。」

と言われ、そのあといやなことを言

われて泣いてしまったことがありました。

その時、友だちが、

「そんなこと言っちゃだめだよ。」

と注意してくれました。

わたしは、すいすい泣いていなくなりました。



うれしかったあのとき

わたしは、うんていでFさんとあそぶとき、<sup>ぜん</sup>全ぶうんていができなくなった、Fさんが「がんばれ」ってうんてい、<sup>ぜん</sup>全ぶできてうれしかったです。

それから、うんていでFさんがれんしゅうにつきあってくれたり、おうえんしてくれたことが、<sup>じぶん</sup>いまでも心の中にいます。

Fさんはてんこうしたけど、いまでもうんていのれんしゅうをてつだったり、おうえんしてくれたFさんのことは、わすれていません。

Fさんがいなくても、いっしょうけんめいがんばりたいです。



おたん生(う)日(ひ)プレゼント

お兄(にい)ちゃんに、少(す)し早(はや)いけれど、おたん生(う)日(ひ)プレゼントをあげました。自分(じぶん)のおこづかいで買(か)ったので安物(やすもの)だけど、お兄(にい)ちゃんはよくコロンをのむので、温(あたた)めれるリップを買(か)いました。

お兄(にい)ちゃんにわたしても「ありがとう。う」とは言(い)ってくれなかったけれど、「う」と言(い)って、少(す)し早くいさよひにまた買(か)いました。

次(つぎ)の日(ひ)からお兄(にい)ちゃんは、毎(まい)日(ひ)リップを使(つか)ってくれます。わたしはそれを見(み)たび、うれしくなります。





お母さんのたんじょうび

わたしは、新はつばいのおかしがほしかったし、お兄ちゃんは新しいさいふがほしかったのでモシラへ行きました。

いろいろなお店をまわっていた時、お兄ちゃんが「あっ！今日はお母さんのたんじょうびだから自分たちのやめてお母さんのプレゼントを買おう。」と言いました。

お母さんのすきそうなお店をいっぱい回り、お花のヘアピンにしました。

お兄ちゃんは500円、わたし300円出しました。

おかあさんは、とてもうれしそうにギョウしてくれました。



ごめんね

ぼくは、友だちと公園でサッカーを  
ぼくは、 ともだちと 公園で サッカーをす  
 ることにした。

遠いので母におくってもらった。  
とおいので ぼくははは におくって もらった。

遊び中、友だちの数がルールいはん  
あそび ちゅう、 ともだちの 数が ルール いはん  
 ばかりして、がまんできなくなった。

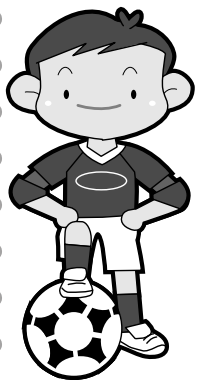
もう家に帰ろうと思った。  
もう かに へろうと おもった。

初めて歩く道、林の中は暗く、車も  
はじめて 歩く 道、 林の中は 暗く、 車も  
 多くてこわかった。

あせとなみだで体も心もぐしゃぐし  
あせとなみだで たいも こころも ぐしゃぐし  
 やだった。

ぼくの後ろを、一人の友だちがついて  
ぼくの 後ろを、 ひとり の ともだちが ついて  
 きてくれた。

「ごめんね」といいながら。大きくて  
「ごめんね」と いいながら。 大きくて  
 あったかい「ごめんね」だった。



# 小学生

わいふをひらいて、

かんしゃされたよ。

家族かぞくでしずおかにりよ行いに行った時とき、

お母かあさんが、ちゆう車場じやまで、さいふをひ  
ろいました。少しラッキーと思おもいました  
が、たくさんのお金かねと、めんきよしよう  
や、たくさんおとのカードがはいつていつて、  
おとした人ひとは、とてもこまっていると思おも  
い、ちよつと遠おとかったけど、けいさつに  
とどけました。

後あとで、おとした人ひとから電話でんわがあり、と  
てもかんしゃされて、いい事ことをしてつて  
も気きもちがよかったです。

今いまどは、わたしにもいい事ことがあるか  
な？



## とりの赤ちゃん

わたし  
私は、道路でとりの赤ちゃんをみつけ  
ました。毛もなくてごっこえていました。  
かわいそうだったので、おとうさんに  
そうだんして家でかうことにしました。

さいしょに、ダンボールでねごこを作  
りました。

ペットボトルにおゆを入れ新聞紙をびり  
びりにやぶりました。

そして、えさをあげました。ピーピー  
いいながら食べていました。

そして、一〇日後ダンボールから自分  
でとびだっていきました。  
今ごろどうしているかな。



# 小学生

はじめての学校生活は、

きょう食の前は、本当は自分のほら  
しは自分でまわしてあげなければならぬ  
を、先にはほらしをまわしてあげた子が、  
がいつかみんなのほらしをまわして  
くれました。

三年生になって、はじめての学校生活は、  
り、四年生の子がまわしてあげてくれました。

私は、自分のほらしをまわしてあげて  
まわすのじぶんも気がついてまわして  
くれたのが、とてもうれしかったです。

来年は、上の学年になるので、今の四年  
生のように、ほかの子の分までまわして  
あげたいです。



## せわじわのタオル

ぼくのお母さんは、仕事から帰ると、つかれているのか、よくよこになっっています。

ぼくは、おかあさんにそっとタオルをかけてあげます。お母さんは、目をさますと、ぼくに、ありがとうと言ってくれます。

ある日、ぼくがひるなをきいて、目が覚めるとタオルがかけてあることに気づきました。

お母さんにきいてみると、それは妹がかけたのだとおしえてくれました。



助けるおねえさん

ほいくえんのころ、年に一度のだけは  
なまつりに行きました。

大ぜいの人の中で、まいごになりました。

大ぜいの人の中で、どうやってお母さん  
をさがすのだろうとどきどきして、な  
きそうでした。

そしたら高校生ぐらいのお姉さんがや  
さしく声をかけてくれました。

いっしょにお母さんたちをさがしても  
らいました。

お母さんとぶじにあえました。

わたしもこまっている人がいたらたす  
けてあげたいです。



## 電車の中の出来事

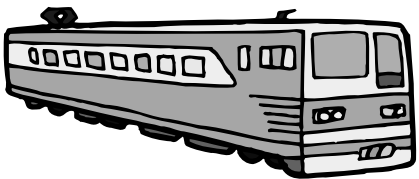
ぼくは、家族四人で電車にのりました。こんでいたので、みんなすわれましたが、家族四人よこならびではすわれませんでした。

した。二人ずつになってしまったので、電車の中で話ができませんでした。

すると、高校生くらいの一人の男子が、「席かわりましょうか。」とやさしく声をかけてくれました。

お兄ちゃんがせきをゆずってくれたので、みんなで話したりすることができました。

ぼくは、電車からおおのりするときも、お兄ちゃんにかんしゃしていました。





落とし物をとじたよ

ある金曜日の下校の時に、私は、通路の道で、落ちていた上べつを見つけた。

上べつの名前をさがすと、外のふくろに同じ班の子の名前が書いてありました。

その子の家を知っていたので、同じ学年の友だちといっしょに、落ちていた上べつを家までとじました。

次の週に、上べつを落とじた子のおばあさんが、家に来てお礼をいわれたので、とてもうれしい気持ちになりました。



# 小学生

3年生の冬に、ぼくはマイコプラスマ  
肺炎になった。熱が下がらず入院を勧め  
られた。

2週間以上学校を休んでいる間に、  
クラス中のみんながぼくのためにメッ  
セージを書き込んだ集合写真入りのポ  
スターを作ってくれた。担任の先生が  
心配して家まで会いに来てくれて、ポ  
スターを渡してくれた。

早く学校に行きたくて、さみしい思い  
をしていたぼくは、ポスターのみんなの  
笑顔とメッセージに心が  
熱くなった。

ありがとう。ぼくの  
仲間達。



おじいさんとおばあさんに

歌を歌って

おじいさんとおばあさんに歌を歌いま

した。○○と○○高れい者しせつです。

歌った曲は、わんわん、もみじ、ちやつ  
み、ゆうやけこやけ、です。

歌っている時に泣いている人もいま  
した。

ほかにも、お手玉やふうせんつきをし  
ました。ふうせんつきは、おじいさん、

おばあさんとうつき合いました。

最後は、えがおであく手ができてとて  
もよかったです。よろこんでくねてうれ  
しくなりました。

また、こんなき会があったらいいと思  
います。



# 小学生

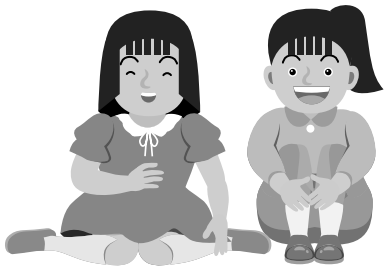
ないしょにしゃべってもいい

わたしは、けんかをしたときに、なか  
なか自分じぶんがやったことを口くちに出だせませ  
ん。

友達ともだちには、ふつうに言いえるけど、先生せんせいに  
は言いえませんか。

そんなときに、ずっとそのことで泣な  
ていたら、友だちともだちが、「ないしょにしてい  
たらずっとそのままだよ」と言いってくれ  
ました。

そのときがらずっと、だれにでもそう  
だんできるようになったので、うれしか  
ったです。



バイバイ カメちゃん

夏休みおじいちゃんの家いえの川かわでカメをつかまえて持もって帰かえりました。

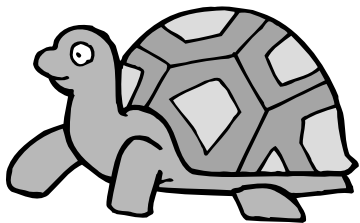
ぼくはお世話せわをしてかわいがっていたけど、カメはずっと水すいそうをよじ登のぼろうとしていました。

カメは今頃いまごろ、仲間なかまのカメと川かわで楽したのくすごしていたはずです。カメがかわいそうに思おもえました。

そしてカメをにがすことにしました。

本当ほんとうはかいたかったけど、カメが川かわで楽したのくすごした方ほうが、ぼくもうれしいと思おもいました。

にがした時とき、カメはうれしそうに帰かえったような気がきがしました。



# 小学生

やっぱり、大好きだよね

お母さんがたん生日の時でした。お兄ちゃんとお母さんが宿題のことで口げんかをしていました。わたしは見てみると心がいたくなりました。

お兄ちゃんは自分の部屋で、つくえに向かって何かしていました。近くに行ってみてみるとお兄ちゃんは、なきながらお母さんにおたん生日プレゼントを作っていました。メッセージは、「ごめんなさい」。

それを見てわたしは、心がとても温かくなりました。お母さんが大好きなんだなと思いました。



## ゆずり合いの気持ち

私わたしがお母さんかあと車くるまででかけた時とき、細ほそい道みちから大きな道おおへ出でようとするよ、とてもこんでいて、大きな道おおへ出でられませんでした。

ずっと車くるまがとぎれるのをまっていました。長い間ながあいだまつたら、一台いちだいの車くるまが、ゆずってくれました。

私わたしはうれしくなりました。そして止とまってくれた車くるまの人ひとにおじぎをして、お礼れいをしました。

お母さんかあが「ゆずり合あいもらねようね、いいね。まっしろな車くるまがいたら、ゆずり合あいもらねようね。」と言いって、私わたしはうれしくなりました。



# 小学生

感<sup>かん</sup>し<sup>や</sup>

ぼくは、夏<sup>なつ</sup>休<sup>やす</sup>みに、家<sup>か</sup>族<sup>ぞく</sup>でデイスニーランド、デイスニーシーに行<sup>い</sup>きました。

ぼくのお兄<sup>にい</sup>ちゃんは、し<sup>し</sup>ょう<sup>じょう</sup>が<sup>が</sup>いがあ  
るので、車<sup>くるま</sup>い<sup>い</sup>す<sup>す</sup>で<sup>で</sup>の<sup>の</sup>い<sup>い</sup>動<sup>どう</sup>のため、多<sup>おほく</sup>くの  
人<sup>ひと</sup>がゆ<sup>ゆ</sup>ず<sup>ず</sup>つ<sup>つ</sup>て<sup>て</sup>く<sup>く</sup>れ<sup>れ</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>た。

ア<sup>あ</sup>ト<sup>と</sup>ラ<sup>ら</sup>ク<sup>く</sup>シ<sup>し</sup>ヨ<sup>よ</sup>ン<sup>ん</sup>に<sup>に</sup>入<sup>い</sup>る<sup>る</sup>時<sup>とき</sup>と<sup>と</sup>か、食<sup>しょく</sup>事<sup>じ</sup>の  
時<sup>とき</sup>な<sup>な</sup>ど、せ<sup>せ</sup>ま<sup>ま</sup>い<sup>い</sup>通<sup>つう</sup>路<sup>ろ</sup>で、車<sup>くるま</sup>い<sup>い</sup>す<sup>す</sup>の<sup>の</sup>い<sup>い</sup>動<sup>どう</sup>  
は、大<sup>たい</sup>へ<sup>へ</sup>ん<sup>ん</sup>で<sup>で</sup>す<sup>す</sup>が、み<sup>み</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>に<sup>に</sup>気<sup>き</sup>をつ<sup>つ</sup>か<sup>か</sup>  
て<sup>て</sup>も<sup>も</sup>ら<sup>ら</sup>い<sup>い</sup>、先<sup>まづ</sup>に<sup>に</sup>行<sup>い</sup>か<sup>か</sup>せ<sup>せ</sup>て<sup>て</sup>も<sup>も</sup>ら<sup>ら</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>た。

感<sup>かん</sup>し<sup>や</sup>で<sup>で</sup>い<sup>い</sup>っ<sup>つ</sup>ぱ<sup>ぱ</sup>い<sup>い</sup>で<sup>で</sup>し<sup>し</sup>た。ぼ<sup>ぼ</sup>く<sup>く</sup>も、ど  
こ<sup>こ</sup>か<sup>か</sup>で<sup>で</sup>し<sup>し</sup>ょう<sup>じょう</sup>が<sup>が</sup>い<sup>い</sup>の  
あ<sup>あ</sup>る<sup>る</sup>人<sup>ひと</sup>と<sup>と</sup>出<sup>で</sup>あ<sup>あ</sup>っ<sup>つ</sup>たら<sup>ら</sup>、  
ゆ<sup>ゆ</sup>ず<sup>ず</sup>ら<sup>ら</sup>い<sup>い</sup>と<sup>と</sup>思<sup>おも</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>す。





## 最高のオレンジジュース

五月のゴールデンウィークが終わった後、ぼくはおなかがいたくなって、一週間学校を休みました。

勉強はしたくないけど、さすがに一週間もだれにも会わないのはさみしいな、と思っていたら、同じクラスの〇君が一五〇円のぼくが好きなオレンジジュースをかって、おまいにきてくれました。

〇〇君のおじづかいは、一週間一五〇円なので、びっくりました。ぼくはうれしくなって、二人で半分こしてのみました。

特別な味がしました。



おせ  
おつ  
あさ  
の

お母さんど、くしやさんどらきまつた。  
くつやさんをびるよき、おとしよりの  
かたが、はいろうとしりました。  
わたしは、ドアがしまらないように、  
おとしよりのかたがはいるまび、ドアを  
もってあげました。

おかあさんは、

「Aちゃん、えらいね。」

といってくれました。

いいことをしたな、とおもいました。

これからも、おとしよりのかたがこま  
っていたら、たすけてあげたいです。



先生とクラスのきずな

ある日、私のクラスであるハプニング  
 がおきました。先生が食かんをこぼして  
 しまい、先生の方をみんなが見て、先生は  
 みんながパニックになってしまおうと思  
 いあせていましたけど、みんなはすべ  
 ティッシュを取っておちたごはんと  
 たりして、先生のことを手つだってい  
 ました。

先生は安心して、私も安心して心  
 がぼかぼかしたし、みんなもえがおにな  
 っていたので、先生とクラスのきずなは深  
 いんだなと思いました。



おお  
大わらい

ぼくは、前、友達と遊んでいた時ちよ  
 っとした事で口げんかになりました。そ  
 の時二人ともはなれて別れてしまいまし  
 だ。

ぼくは、その時にもうしらないと思っ  
 たけど、やっぱり仲よくしたいと思いまし  
 た。だからぼくは、その後もどってあや  
 まろうと思いました。

友達も同じ気持ちだったようで、二人  
 の口から同時に出了た言葉が「ごめんね」  
 でした。

二人とも同じ気持ちとゆうことにきづ  
 いて二人で大わらいしました。  
 「ワーハハハ」



## 大切な友達

私は以前、自転車が石につまづいて転んでしまった。車にクラクションもならされた。でも、いたくて立ちあがれない。そんなとき、いっしょにいた友達が車にむかって両手を広げて、

「止まってください。」

と言って車を止めてくれた。

私はがんばって立ちあがり、自転車を

どけた。友達が、かばってくれて勇気が出たからだと思う。

「。りてもうれしかった。」ありがとう。



## 弟の成長

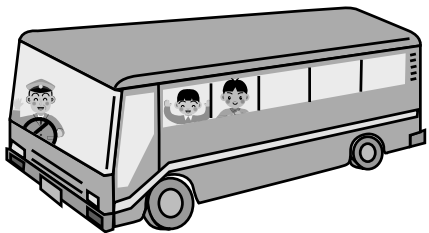
弟は、バスに乗るのが大好き。

ある時、一番前の席にすわって景色を楽しんでいると、弟より小さい男の子がバスに乗ってきました。

弟は、その男の子に席をゆずってあげました。

いつもはわたしがゆずってあげるのに、と思いました。

自分より小さい男の子に席をゆずっている弟を見て、大きく、たくましくなったなあと思います、うれしくなりました。



## 忘れられない出来事

いちねんせい なつやす あ ぼく てんこう  
 一年生の夏休み明け、僕は転校した。

とうじつび あひま み おお  
 登校日の朝、今までに見たことのない大  
 きなカタツムリに会った。この子が転校  
 びねいしゅ じゆうたんと  
 日最初のお友達だった。

じこしきうかい あじ しゅせん す  
 自己紹介の後の質問で、「好きな動物  
 なん  
 は何ですか?」僕は迷わず、「カタツムリ

です。」と答えてしまった。

だれ  
 すぐに誰かが、「それ動物じゃないよ。」  
 わら  
 と笑いながら言った。僕は恥ずかしかっ  
 た。

でも、「生き物だからいいんだよ。」と誰  
 が言ってくれた。僕はすっぴん  
 わす  
 忘れない。

いしか言いたい。「あひがひひ」



# 小学生會

(無題)

この前、私は、ロックシティに行きました。買い物が終わった後、ちゅう車場に、カートがおいてありました。

私は、

「そのままにしたら店員さんがこまるだろう。」

「そのままにしたら、車にぶつかりして あぶないだろう。」

と、考え、カートをカート置場にもどしました。

すると、自然に、なんだかほかほかしてきました。





おうちの外そともピカピカに

〜エコ活動かっくう?!

今日きょう、おばあちゃんのお家うちで妹いもうととプ  
ールあそで遊びました。楽たのしく遊び終あそわると、  
みんなはプールの水みずをそのまますててし  
まうと思おもいます。でも私わたしは思おもい付きまし  
た。そのたくさんある水みずをつかって、ち  
ゆう車場じゆうじやうじやうをゴシゴシとみがくのです。  
妹いもうとと力を合あわせてピカピカにしまし  
た。すると二人ふたりは顔かおを見合みあわせて、「ニコ  
ッ」と笑わらいました。  
ちゆう車場じゆうじやうじやうもピカピカに、二人ふたりの心こころ  
もピカピカに〜  
終おわったら、おば  
あちゃんにほめられ  
てうれしかったです。



ゴミステーションを直す人たち

ゴミの日に、誰かがゴミステーションで何かをやっているのを見ました。

よく見たら、ゴミはとてもちらばって  
いました。何かやっているのは近所の人  
でした。

その人は、ちらばったゴミを集めて、  
ゴミぶくろに入れなおし、それをまたゴ  
ミステーションにすてました。

そしてやぶれているゴミにかぶせるあ  
みをなおしていました。長い時間をかけ  
ていて、ねいになおしていました。

収集車が来て、ゴミを  
集めていきました。  
ばくも見習いたいです。



## ゴミ拾い

わたしの妹は、ラジオ体操の帰り道でゴミを一つ拾うボランティアを始めました。

毎日少しずつきれいになっていく道を見て、私も協力してきれいになりたいと思いました。

ある日ゴミを拾っている私と妹を見て、近所のおばちゃんが「毎日ありがとうね。すごくきれいになったね。」と書いてくれました。

夏休みが終わるころには、道はすごくきれいになり、その道を見て私と妹は「やってよかったな」と思いました。



## ちよつといい話

わたし だいす そふ そほ  
 私には大好きな祖父と祖母がいます。  
 ふたり わたし いらいそ  
 二人は私に色々なことを教えてくれた  
 り、作ってくれたりします。

わたし そふ こま やみこ そほ  
 私は祖父が作ったお米や野菜、祖母が  
 つく おい だいす  
 作ってくれる美味しい料理が大好きで  
 す。でも以前に比べて、動作はゆっくら  
 からた ちい  
 に、身体も小さくなってきたので、少し  
 しんぱい  
 心配です。

わたし やみこひく りみつり おほ  
 これからは、私も野菜作りや料理を覚  
 えて、祖父や祖母の力になっていきたい  
 おも ふたりとせ  
 と思います。二人共、いつまでも元気で、  
 これからも色々な  
 おし  
 ことを教えてね。



てきもみかたもない

くがつじゅうしゅうか　しんたいかい　れんじゅう  
 九月十四日に運動会の練習がありました  
 ねんせい　じゅうへん  
 した。ぼくたちは5年生の種目で、「台風  
 の目」という種目をやりました。

ぼくたちは白組で、赤組と一本のぼう  
 でコーンを回ったり、最後にぼうを飛ん  
 ぐと  
 でいったり、せを低くしてくぐったりす  
 るきょうぎです。

そのときぼくたちは9列で、赤も同じ  
 れつ　あか　おな  
 く9列でした。白はいろいろしっぱいし  
 りょう  
 て負けてしまったけど、赤がぼくたち白  
 ま　あか　しろ  
 はてきチームなのに、みかたみたいに大  
 おお  
 きな声でおうえんしてくれたので、うれ  
 しい  
 しかったです。



# 小学生時代

ばんそうこう

登校中、一年生の子が転んでしまいました。その時私は、ランドセルの中にはばんそうこうを入れていたので、かしてあげました。

わたしがなぜランドセルの中にいつもばんそうこうを入れているのかというと、低学年の時、同じようにころんとまっけてがをしたら、高学年のお姉さんがばんそうこうをはってくれたからです。

その時のお姉さんのようにわたしもなりたいと思いました。



## ま法の言葉

毎日、学校に行くとき、げんかんでお母さんに「行ってきます」と言います。私はいつもこの言葉を元気に言ってから学校に行きます。

でも、けんかをしてからしゃべってなくても、お母さんは元気に「行ってらっしゃい」と言ってくれます。その言葉で仲ももどろ、元気に学校に行くことができます。

私はこの言葉を大切にしています。私にはこの言葉はま法です。元気に学校に行けるからです。これからもこの言葉で元気に学校に行きます。



## 祭りまつりで

ぼくが友達とおおがきしまつり、  
 大垣祭おおがきまつりに行いったときに、友達ともだちが食たべ物ものを買かって、  
 おつりおつりをもらいました。

その時とき友達ともだちが、もらったおつりおつりを、近ちかく  
 にあった熊本地くまもとしんのふっこうしえん  
 ば金箱きんばこの中なかに、おつりおつりを全ぜん部ぶ入いれました。  
 おこずかいの大半たいはんをきん金きんするなんて、  
 すごいなあと思おもいました。

そして友達のあたたかい行こう動どうに思おもわず  
 心こころがぽかぽかしました。





笑顔えがおになったおじいさん

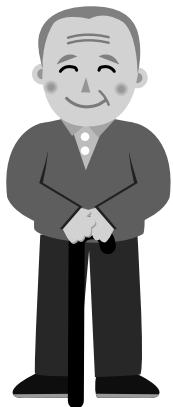
ぼくのおじいさんは認知症にんちていしょうです。いつもは話すはなこともあまりしません。洋服やうふくも間違まちがえて着きたりします。間違まちがえて着きたりします。

先日せんじつ、おばさんとおじいさんとおばあさんを旅行りょこうに連れて行いってくれました。

ぼくは、「大丈夫だいじょうぶかな？」と思おもいました。旅行りょこうから帰かえってきたおじいさんは全然ぜんぜん違ちがっていました。

「すごく楽したのしかったですわ。ありがとう。な。おじいさんは、病びょう気きになる前まえのように元げん気きになっていました。

ぼくも、家族かぞくのみんなもとてもうれしくなりました。



# 小学生

川がきれいに

8月の終わりの日曜日に、糸貫川の  
清掃作業がありました。

5月にやったときには、紙やカンなど  
のごみがたくさん落ちていました。でも  
今回は、ごみがほとんどなかったです。

きっとみんなが川にごみを捨てないよ  
うにしてくださいだと思います。

これからは川だけでなく、道や建物の  
中でも勝手にごみを捨てないようにな  
し、呼びかけていきたいです。



## 選手ぎめ

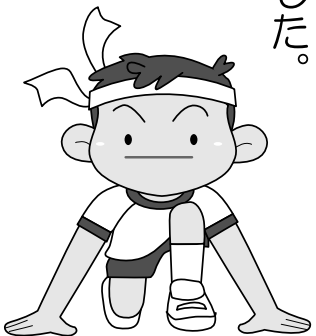
学校の運動会でやる選手リレーに出る人をクラスの中で決める時のことです。

二人目を決める時に、ぼくとAちゃんと競争しました。

そして、ぼくの方が早くて、ぼくが選手リレーに出ると決まりました。

その時に、Aさんが、「Bちゃん、選手リレーがんばってね。」と言ってくれました。

選手になれなくてくやしいのにおうえんしてくれて、とてもうれしかった。かっぴいとおもいました。



たいせつ なかま  
大切な仲間

わたし  
私は、サッカーをやっています。男子  
なか じょしひとり  
の中で女子一人です。いつも戦う相手が  
だんし  
男子ばかりです。相手のチームの男子に、  
あいて  
「あー女子がおる。」と、バカにされます。  
そんな時、少しくやしい気持ちになりま  
す。

わたし  
でも、私のチームのみんなは、「絶対勝  
つぞ。」と言って一緒に戦ってくれます。

わたし  
だから私はがんばれます。

だんじょかんけい  
私のチームは、男女関係なく一緒に  
たたか  
戦ってくれます。だから、私は、チー  
ムのために、絶対  
つよ せんしゅ  
に強い選手になり  
たいです。



仲間なかまのありがとうを  
 気づきいた出来事できごと

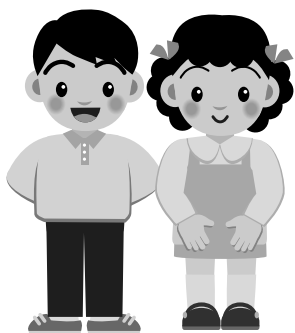
私わたしが前まえ、物ものをなくしてしまったとき  
 に、5人の子こがいっしょにさがしてくれ  
 た。

休み時間やすみじかんの終わりのチャイムがなるま  
 でさがしてくれた。

「落しもの所ところにあるんじゃない。」  
 とか、いっしょにありそうな所ところを考え  
 てくれたり、教室けいしつにさがしたいとき  
 は「手分けてわけしてさがそう」と言いって、い  
 っしょになってさがしてくれた。

結局けっぐい、その日はなくしたものは見みつか  
 らずに、何日なんじつかはい  
 ました。

だけど、私わたしはうれ  
 しかった。



町まちがきれい

わたしは、今年ことし美化委員びかいいんになりました。

マリーゴールドを植うえました。

水みずやりなどもし、大切たいせつに育そだてました。

ある委員いんかい会の日ひ、マリーゴールドをか

いしゅうにくる人ひとが二人ふたり来きました。

マリーゴールドを渡わたしてから、公民館こうみんかん

や、道路どうろに、私わたしたちの育そだてたマリーゴー

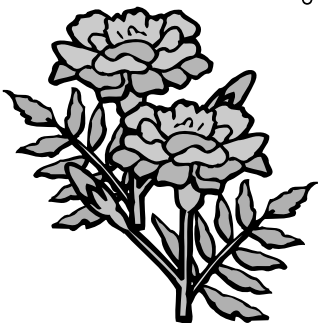
ルドが、かざってありました。

市之倉いちのくらの町まちが、きれいになったと思おもい

うれしくなりました。

もっと市之倉いちのくらの町まちが、緑豊みどゆたかになって

ほしいと思おもっています。



## 認知症のおばあちゃん

わたしのおばあちゃんは認知症です。

今は「OO」よごのせしごです。

わたしは、毎週日曜日よへおばあち

ゃんのせしごに行きます。そのロー

には、グランドピアノが置いてあります。

なので、おばあちゃんが歌えそうな曲

や知っていそうな曲を、おばあちゃんの

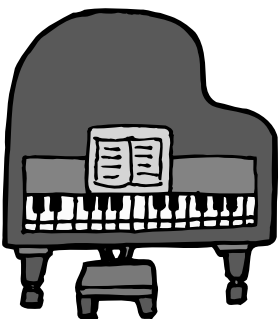
前でひいています。

おばあちゃんは毎回手をたたいて、え

がおで歌ってくれたらします。

そんなおばあちゃんに会うのを、毎回

楽しみにしています。



変われー！自分

おお 大なわの練習の時の出来事だった。団  
わ に分かれて、初めて一回目の練習をして  
いた。

れんしゅう 練習を始めてすぐKさんが、足になわ  
あし をひっかけてしまった。すると、まわし手  
あし ひ のEさんが、「がんばれ！足をひらくと引  
ひ つかかるよ！」とアドバイスをしていた  
ので、聞いていた私もおも  
わたし ががんばろうと思  
ました。

つぎ 次の練習日、四十二回とんだ。

みんなの心が一つになった

しゅんかん 仲間だった。うれしかった。

ほんばん 本番、四十三回で最高だっ

わだし た。私も、Eさんの様になら  
たい。





勇気をくれたおばあさん

私が、家で、たまにはそらじをするか  
 あと思い、外で草むしりや花の水やりな  
 どしていたら、知らないさん歩中のおば  
 あさんに声をかけられました。

「おそらじ、いっしょにやろ。すいね  
 え、こんな暑い日じ」  
 といってくれました。

私は、じつもんをいっしょになり、心があ  
 だかくなって、がんばろうと勇気がで  
 たり、またよろうかなという気持ちにな  
 りました。

いっしょにやろうと  
 わたし  
 私の心に少し勇気をくれて  
 うれしかったです。



ふたり  
二人でつかんだ幸せ

ある日、私の友達が学校でいじめられていた時、私に相談してきました。

その時、私は、「大丈夫だよ。」となくさめてあげました。そしてその友達に、「その人のいいところをノートに書いていいよ。」などとアドバイスをしました。そうしたら、数日後にそのいじめは、止められました。

そして数日後、私が困っていた時に、その子がアドバイスをしてくれました。私と友達は、困った時に助け合っ二人で幸せをつかみ合いました。



おじいちゃんとのひまわり

私のおじいちゃんは、私が二才の時に脳こうそくで倒れて、右手が不自由になりました。

それでも今、私の習い事がある日に

は、車で送りむかえしてくれます。

そこで楽しみなことがあるんです。

それは、帰りにちよっとコンビニに寄

ってくれて、私の好きなものを一つ買ってくれることです。

ちよつど、お腹がすいている私は、お

じいちゃんを買ってもらいます。

母と弟には内緒だけど、こんなおじ

いちゃんとのひま

わりが大好きです。



# 小学生

カッコイイおかあさん！

わたしのお母さんは、いつも一生けん命はたらいてくれます。

私には2人きょうだいがいて、いつもたいへんそうにしています。けど、いつでも笑顔でいてくれます。

わたしは、そんな、お母さんが「カッコイイ♥️」と思います。

なので私もお母さんみたいにカッコよくなるために、家のお手伝いを毎日やり、妹や弟のめんどうをみてあげたりして、「しらい時こそ笑顔」という言葉を学べたので、その言葉を大事にしていき、いつかお母さんみたいになりたいです。



ガッツポーズでくれた勇氣

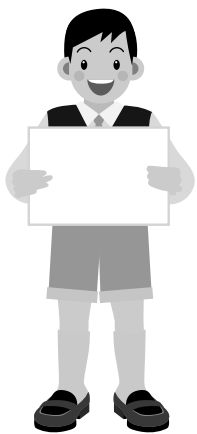
私は、本巢市少年の主張大会に行っ  
た。

真桑小の代表として、「熊本地震」に  
ついて主張してきました。最初は、ドキド  
キするな、人がどんどん多くなってるな、  
と思いながら、席から後ろの出入口を見  
ていたら、お母さんと目が合った。

お母さんは、「がんばって」とガッツポ  
ーズをしていた。

話せない、静かな所でも、私に、少  
でもきんちようをほぐそうと、勇氣をく  
れたお母さんがうれしかった。

無事に言い終えた時、すごくうれしか  
ったな。



# 小学生

しまった時に助けてあげる学年がくねん

ある日、学校のお手洗いの前の所で、

バケツがひっくり返ってしまったよう  
で、水びたしになっていました。

わたしが、ぞうきんを取りにもどろう  
としたら、色々な教室から、ぞうきんを  
持った人が多く出てきました。

すると、しられて、ぞうきんを持って、  
私も手伝いました。多くの人が協力し  
ているところを見て、「すごい学年だがくねん

あ」と思いました。

これから、このよ  
うな優しさあふれる

学年でいてほしいです。

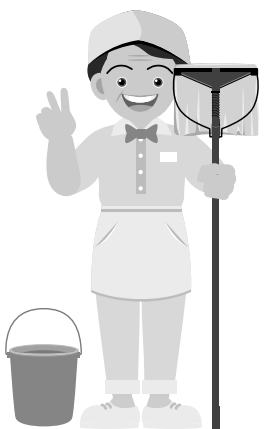


## トイレの神様

私が、大きなスーパーに行った時の話です。そこのお手洗いはものすごくきれいでした。

たまたまそこに清潔な職員の方がいました。その方はていねいにそうじをしてくれました。私が「いつもありがとうございます。」と言っていると、清潔な男の方は「ありがとうございます。」と笑ってまたそうじを始めました。

私は、いまでもそのスーパーに行くとこの事を思い出します。気持ちよく利用することができるよう、これからもそうじしてくださった方は、トイレの神様です。



# 小学生篇

ぼくの気持ち、

わかってくれている

いつも、おもちゃで遊んでいる家でか  
っている犬の「杏」にはげまされたとき  
があります。

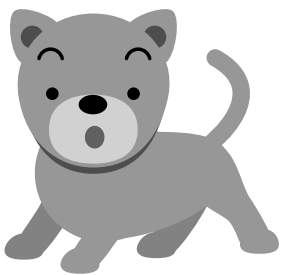
この前、妹とけんかをしてしまいま  
した。けんかの中、お母さんにお願いら  
れて、泣いて、すねていたぼくに、杏が、  
そっとよりそってきてくれました。

顔を見るよ、まなで、

「わかる。わかる。その気持ち。」

といつているような表情をしていま  
した。

その後、ぼくはおちつ  
いて反省をして、妹に  
あやまって、仲直りがで  
きました。





# 小学生

一年生のがんばり

私が、そうじを終えて、教室にもど  
ろうとしたとき、とてもびっくりする姿  
を見ました。

それは、一年生のYさんとKさんが、  
そうじの終わりのチャイムがなくても、  
二人でそうじをしていました。

たとえば、一年生のそうじ場所だからと  
いって、ほっておくわけにはいかないの  
で、一年生の二人に、「そうじ最後まであ  
りがとう。」と声をかけると、「自分達が  
よごしたんだから。」と、「一生懸命そう  
じしていました。」

自分もしっかりして  
おもう思います。



私のお姉ちゃん

私には、高校生のお姉ちゃんがいます。

毎朝、お弁当を持って行きますが、自分でたまご焼きを作ったり、おかずをつめたりしています。帰ってくるで自分でお弁当を洗います。

全部お母さんにまかせず、自分でできることは自分でやっているので、私もお姉ちゃんをみないたいし、これからお母さんの料理のお手伝いなども、がんばってやっています。



助けた時のちよつといい話

わたしは、スーパーに行った時に足が自由な人がいて、買い物かごを持ってとずるけど、うまく動けず、「どっしりよう、手助けしようかな?」

そう思ったけど、思いきって「手助けしましょうか?持ちましようか?」

そう言ったしゅん間、言った自分にビックリした。

その人は、「おねがいしていい?」と言って、たよってくれた。

そして私が持ってあげて、最後にその

人は、「ありがとう助

かったよ!」と言っ

てもらって、達成感

がわきました。



# 小学生

心があたたかくなる思いやり

この前、母と妹がスーパーに行つて、私は留守番をしていました。

そして、時間がたちました。でも全然帰ってきません。「どうがより道してるー!」  
と思つてちよつと怒りました。

そして帰つたら、聞きました。すると、妹の同級生の男の子が自転車の力ギを無くして、こまっていたから、声をかけて、いっしょに探してあげていた、というのです。

私は、ちよつと自分はずかしくなりました。

「思いやりは、大切だな。」と思ひました。



## 大好きなねこ

わたしはねこが大好きで、オスのねこを1匹き飼っています。夏休みに入る前に、他にもメスのねこを1匹き預かっていて、そのねこはにんしんしてしまいました。

七月十七日くらいらひき産まれました。初めての赤ちゃんねこで、自分の子のようにすごくかわいがっていたけど、家ではそんなに飼えないので、他の人にあげました。

すごく悲しかったけど、命を大切にすることを学ぶことができて良かったです。



# 小学生

妹 いもつと

妹は、私と三才、としがはなれてい

ます。今、妹は小学三年生で、私は、

まだおさないと思っていました。

ある日、私が妹の机を整頓して

いると、ふと何かに目がとまりました。

机の中、奥ふかくにあったそれは、紙  
ぶくろです。

これは何だろう？ そう思った私は、

妹にたのんで中を見せてもらいまし  
た。

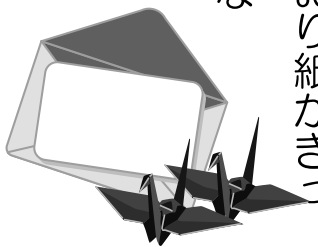
見てみると、私が過去、妹にあげた

多くの手紙、プレゼント、おり紙がぎっ

しり入っていました。こんな

ものまでとっておく妹に

感動しました。



# 小学生

(無題)

わたしは、ある日友達にさそわれて、公園に行きました。そこで一年生に会いました。

その一年生は、ボールの取り合いで、ケンカをしていました。

私はまよわず、かけよってあげて、話を聞いてあげて、原因をつきとめて、仲直りするまで、かけよってあげました。

最後には、仲良く遊んでいてよかったです。

しばらくすると、その中の一人の子が来て、いっしょに遊ぼうと言ってくれました。

その子たちの笑顔がとてもすてきでした。



勇気を出したら笑顔になれたよ

以前、私が下校している時に、転んで

泣いている子がいました。

私と友達は、その子に「どうしたの。」

「大じょうぶ。」と声をかけました。血が

出ている痛そうだったので、子供一〇

番の家に来て行ってあげました。

手当てをしてもらった後に、その子は

「助けてくれてありがとう。」と笑顔で言

ってくれたので、私も笑顔になれまし

た。

声をかけたり、助けてあげるのには勇

気があるけれど、

人を笑顔にでき

ると思えました。





## 友達からのやわここの言葉

わたくし ねんせい とき はなし  
私が5年生の時の話です。くつをか

くされて、さがしていたときに、先生と

友達がいっしょにさがしてくれました。

み 見つからないときは、校舎中を走っ

て、汗をながしてさがしてくれました。

み 見つかったら、「大丈夫」、「見つかって

良かったね」など声をかけてくれて、う

れしかったです。

いま はんじん み  
今も犯人は見つかっていませんが、そ

のとき、友達が声をかけてくれたおかげ

で、胸はすっきりしています。



# 中学生

## 一人の勇氣

これは私の友人から聞いた話だ。あの日の登校中に起こったことだ。

Aさんがいつもの通学路を通っていたとき、知り合いの小学生が登校班の子たちと止まっていた。どっしたのか聞くと、どうやら登校班の一人の子が吐いてしまったらしい。それを見たAさんは、すぐにその子にほかに痛いところなどはないか聞いた。そして知り合いの家に助けを求めた。吐いてしまった子は助けてもらったあと、助けてもらった家やAさんにお礼を何回もしたらしい。Aさんは勇氣があるなと思った。

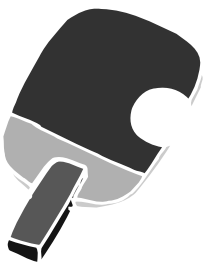


## 握手

ある日の試合。私は決勝というぶた  
いに立っていました。大きな声とガッツ  
ポーズで見事優勝することができまし  
た。しかも、3—0で。

卓球の試合では、最後に握手をしま  
す。もちろん私も。

そう思って握手を求めにいきました。  
すると、「試合をしてくれてありがとう」「  
と、私に言ってくれました。まっと負け  
て悔しいはずなのに……」  
「ありがとう」「言ってもらえても  
うれしかったです。」  
だから今度は、私が「ありがとう」と  
言えるようにしたい。



言葉の重みを教えてくれた彼女

その子との出会いは、とある公園の水  
飲み場だった。その子は多分小学3・4  
年生くらいだと思う。やはり中学1年生  
としてその子に「水、お先にどうぞ。」と  
言った。

けれどその子とはまどった顔をした。  
そこにこの子のお母さんが来て、この子  
は耳が聞こえないことを知った。その子  
のお母さんが、私がさっき言ったことを  
手話で話したのか、その子は私に「あり  
がとう」と口と手を動かして言ってくれ  
た。これを超える一言は、もう聞かない  
と思う。



# 中学生

## 初めての人の助け

学校の帰り道、押し車から落ちて倒れていたおじいさんを、友達と二人で助け起こしてあげたことがあります。

けがや病気の人を助けた、なんて、人に誇れるような人助けではないけれど、僕にとっては、生まれて初めての体験でした。

助けた後のすがしさ、気持ち良さ、この小さな感動を忘れず、大切に持ち続けていきたいと思います。



# 中学生

人のために行える事がある

先日、一人のおばあさんが父と母に道を尋ねてくれました。

おばあさんに、言葉で、母が説明していましたが、おばあさんは、わからなかったそうです。

そこで、父と母は、買い物から家に帰る途中で、そのおばあさんを目的地まで、車で誘導してあげたそうです。

家からは、全く逆の方向でしたが、人の役に立つことができ、とてもうれしかったと、話していました。

ほくも、困った人に出会ったら優しい気持ちで接したいです。



待ち合わせ場所・・・

夏休み、同じ班の人と待ち合わせをしました。

私は、学校でみんなと相談して決めていた場所にいましたが、待っても待っても誰一人来ることはありませんでした。

不思議に思いながら家に帰ると、なぜかみんなは別の場所で待っていると聞き、急いで向かいました。

「怒っているだろう」そんな私の思いとは裏腹に、「おっせーぞー!」という笑う姿が・・・  
私は、広い心を持つみんなに感動しました。



# 中学生

仲良く並んで帰った日  
なかよ なら  
かえ  
ひ

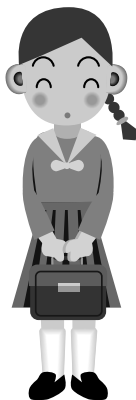
私が学校で友達とけんかしてしまっ  
わたし がっこう ともだち  
た日のにじゆです。  
ひ

心のどこかでは悪かったと思ってい  
いん 心のどこかでは悪かったと思ってい  
ても、意地をはってしまい、あやまるこ  
いじ ても、意地をはってしまい、あやまるこ  
とができないまま下校時刻がやってきま  
たができないまま下校時刻がやってきま  
した。  
し

私が一人で帰っていると、後ろの方か  
わたし ひとりで帰っていると、後ろの方か  
ら「一緒に帰ろ」という声がきこえてき  
いっしょ からも「一緒に帰ろ」という声がきこえてき  
ました。ふりむいてみると、けんかをし  
ました。ふりむいてみると、けんかをし  
てしまった友達が走ってきました。  
いっしょ 友達が走ってきました。

そのまま一緒に帰り、自分から素直に  
そのまま一緒に帰り、自分から素直に  
あやまるじゆができました。  
あやまるじゆができました。

心のもやもやがなくなるともすっ  
いん 心のもやもやがなくなるともすっ  
きりこまりました。  
きりこまりました。





ねん いちど  
年に一度のポカポカ

わたし  
私は毎年まいとし地域ちがいのお祭りまつりに参加さんかします。

ふだん  
普段は少し喋しゃべって会話かいわが終おわるおじさ

んもいて、あまり喋しゃべれないけどお祭りまつりの

日はみんな家族かぞくみたいにワイワイ・ガヤ

ギャ話はなして楽たのしみます。

いつも子どもだけで遊あそんでいる私わたした

ちに、地域ちがいのおじさんが、「こっちこに來

よ」や、「遊あそぼう」と言いってしゃべるの、

とても楽たのしくてとても心こころがポカポカし

て毎年まいとし楽しみたのみます。

お祭りまつりの時にいつも気きを遣つかってくれ

て、とてもいい地域ちがいだ

なと思います。





## あいさつの意味

僕ぼくがいつも、朝登校あさのぼりするときに、ある人ひとがよく自転車じてんしゃで走はしっていて朝すれちがいます。その人ひととは、特とくに関わかかりがあるわけではありませなくでした。

でも、ああいさついさつをするすると必かならず返かえしてく  
れました。僕ぼくはそれそれがうれうれしくななって  
毎まい日にちああいさついさつをするするようようににししまました。

すると、ああいさついさつだけだけだだったところところか  
ら、相手あいての人ひとが「今きょう日は暑あついね。」と声こゑを  
かかけてくくれれました。

ああいさついさつから会話かいわに、僕ぼくはこれこれが本当ほんとう  
のああいさついさつの意い味みなのかなかなと思おもい、強つよく  
感銘かんめいを受うけけました。



# 中学生

「ありがとう」の一言だけで

塾の帰りに、一人が通れるくらい  
の道を歩いていたなら、小さな女の子と女  
人がその道の向こうから通ろうとしてい  
た。

私は別に急いでいなかった  
ので、二人が通り終わるのを待っていた。

二人が通り終えて私も通ろうとして  
いたら、「ありがとう」と言われた。

正直ビックリした。

今まで何回も道をゆずっていたけど、  
お礼なんか言われるのが初めてだった。  
その時私が心から何かがあふれるよ  
うで、じつもうれしかった。



# 中学生

たった一言のありがとうで

わたしは小学生の時にいじめにあって  
いました。でも、その時に助けてくれた仲間  
がいて、私をいじめていた人達を注意し  
てくれました。その時私は泣いていたの  
で「ありがとう」の一言も言えず、ずっ  
と泣いていました。

ある日、私はふとその時のことをおも  
いだし、その助けてくれた仲間のところ  
へ行きました。そして私は笑顔で「あの  
時は助けてくれてありがとう。」と言いま  
した。

その瞬間周りが明るくなり、自分の  
心も仲間の心も温かくなりました。



# 中学生

なにげない優しいさ

わたし  
私は今まで予定黒板にある日直と  
給食当番のプレートを誰が変えている  
のか知りませんでした。

しかし、ある日の放課後、Kさんがそ  
のプレートを変えている姿を見ました。  
誰が変えるか決まっていなしい、誰かに  
頼まれたわけでもないのに、しっかり周  
りの状況を見て積極的に動いていて、  
すごいと思いました。

また、クラスの仲間のことを考えて行  
動しているんだなど、心が温かくなり  
ました。



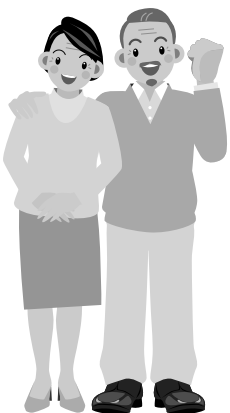
# 中学生

## 元気のでる挨拶

わたしは毎朝の登校で、二人で一緒に歩いている夫婦をみかけます。私が「おはようございます」と言っていると、二人そろって笑顔で「おはよう」と言ってくれます。そしてまた二人そろって歩いていきます。

私はこの二人の挨拶で一日を元気にすごせます。また、すごいことなと思います。こんな風になりたいとも思います。

私は名前も知らないこの人たちにあこがれています。そして私も挨拶をするだけで相手を元気にできるようになりたいです。



# 中学生

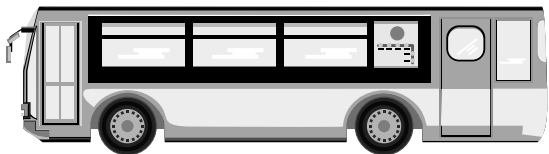
## おも 思いやりある言動 ことばづかい

ある日、私は友達と用事でバスに乗りました。その時に席は空いていましたが、ドアに近い席にしました。でもそこが優先席だと知らず、二人ですわっていたら、一人のおばあさんが乗りました。

席は、満席で、立っていたけどフラフラでした。

そんな時、お姉さんが席をゆすり、私達の所へ来て、「優先席だよ。気をつけようね。」とやさしく教えてくれました。

よく見なきゃいけないと思う  
たし、お姉さんの行動にとても  
心が温かくなりました。





# 中学生

わたし かぞく  
私の家族

わたし わたし あに ちちおや ちか  
私と私の兄の父親は違います。でも

わたし き  
私は、気にしていません。なぜなら、兄

ちちおや ほう しん あたは  
の父親の方の親せきが温かくむかえて  
くれるからです。

にほん おも  
日本なら、ありえないと思いません

か?だって、血がつながっていないんで  
すよ。

ち へい  
中国は、これがあたりまえです。家族

は、血がつながっていなくても家族同然

ちちおや かんが わたし ちちおや  
が中国の考えです。私も、中国の家族

だいす かんが にほん  
が大好きです。だからこの考えが、日本

にも広まるとういいな。



## 声援

その日の体育は持久走だった。

あまり運動の得意でない私は、当然ながら、一番後ろから皆を追いかければかりだった。

あと、二周ほどで終わるのであるというとき、私の体も限界に近かった。

リタイアしよう、そう思った時。「Aががんばれー」という大きな声援が聞こえた。その声は、私の辛さをかき消した。

それと共に、やる気を起こさせた。一人の声援で、こんなにも気持ち良く走れる自分に驚きつつ、声援をくれた人

に、感謝した。



不安も吹き飛ばす魔法の言葉

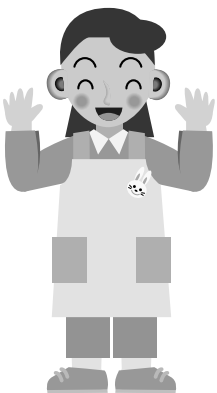
わたしは、職場体験学習で、よく利用する近所のホームセンターを体験させていただきました。

買った商品を袋に入れる作業で、初めてだし不安で緊張しました。

そのときにおばあさんの買った商品にシールをはるのを忘れてしまいました。

そのとなりにいた店員さんが気づき、私が「すいません」というと、名札をみて、「いいよ、いいよ、職場体験？がんばってね」といってくださいました。

その言葉をかけてもらい、不安も吹き飛ばしました。

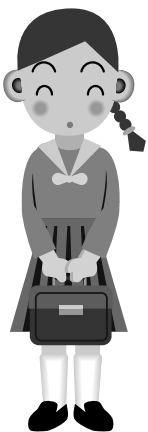


# 中学生

歩いてきたおばあさん

朝、登校の待ち合わせをしている友達を待ったため、細い道で立っていました。この細い道は一人しか通れないくらいで、人とすれ違うことができません。

そんなところで立っていると、道のすこし向こうからおばあさんが来ました。私は、おばあさんに、気づかれないように移動したら、前を通ったおばあさんが、「気を遣ってくれてありがとう。」と言ってくれて、恥ずかしかったけれどもうれしかったです。



# 中学生

## 一生の宝物

私は陸上をやっています。中学生になつて始め、コツコツ練習してきました。そして、3年生になり最後の大会が近づいてきました。私はますます練習に励みました。そして大会前日……いつも通り学校で過ごし帰りの会が終わりました。次は合唱の時間です。後ろに並ぶと突然「Aさん、前に来てください……Aさんの健闘を祈って……フリーフリーA……」。

私は最高に幸せでした。みんなの声援を受けて出たこの試合は私の一生の宝物。



# 中学生

助けてくれたのは・・・

授業の学活で、よく全員発表がありました。

その度、うまく喋れるかなとか、

つまって迷惑かけたくないな、とか、色々

思います。

私は生まれた頃から吃音で、発表時

にそう思うのは普通でした。学活の発表

で、案の定、言葉が出てこなくて、また、

こんなくだらないことで泣くのかと思っ

ていた時でした。

学級委員の人が、私の隣に来て代わ

りに読んでくれたのです。心が救われた

思いでした。助けてくれた彼女に、心か

らのお礼を言

いたいです。



# 中学生

心  
こころ

僕は父の仕事の都合で小学校三、四、五年の三年間、トルコで暮らしていました。

トルコの人達は、とても親切でフレンドリーです。バスの中では、当たり前のように席をゆずり合います。

子どもが大好きで、外国人の僕らにも、道ばたで出会うと、買ったばかりのパンやお菓子を分けてくれます。

言葉がわからなくても、笑顔や行動で気持ちを表すことができるということを知り、トルコの人々は教えてくれました。

僕はトルコが大好きです。



# 中学生

## 母の腕の中

わたしははにちゅう  
私の母は乳がんになりました。大き  
くて、抗がん剤を打ったりしても小さく  
ならず、転移もあるかもしれない、検査  
するまで分かりませんでした。

わたしはがっこう  
私は下校している時に、途中にある  
神社で、毎日のように転移がないように  
祈っていました。

けんさご  
検査後、転移がないことが分かり、嬉し  
かったです。

ははのこ  
母に祈っていたことを話すよ、「ありが  
うじ。」と言いつつ抱きかかってくれました。

あたたか  
暖かい、母のハグでした。





# 中学生

## 優しい車

私が朝、登校するときに通る道には、  
横断歩道が無いところがありません。だから  
いつも、車の通りがなくなってからそ  
の道を通っています。ときどき待たなく  
ても通ることがあります。

それは、車が止まってくれるからで  
す。本当は嫌なはずなのに、笑顔でこっ  
ちを向いてくなくて、私のために待っ  
てくれます。

私は少しでも感謝の気持ちを表せる  
ように走って渡ったり、礼をするように  
心がけています。。。



# 高校生

## 突然の雨 とつぜん あめ

ある日、部活が終わって帰ろうとしたら、とじしゃ降りの雨でした。私は折りたたみ傘がありました。友達はなかったのでも一緒に歩いていました。

雨は強く、制服が濡れるほどでしたが、雨宿りをしながら歩いていました。

すると、通りかかった家のおばさんが「この傘さしていき。」と傘を差し出してくれました。でも、申し訳なくて「大丈夫です。」とごうと、「返さなくていいから。」と渡してくれました。  
ほんとう たす  
本当に助かりました。



## お姉ちゃん

ある日私はお姉ちゃんと喧嘩した。原因は、私の夢がパティシエである事を知ると、「無理」と簡単に言ったから。

いつも私が困っている時や悩んでいる時、一側側について力になってくれる姉だった。悲しかった。しばらく口をききたくないと思ったのは初めてだった。

次の日机を見ると、「ごめん。本当は応援してる。」という紙と一緒に「パティシエ初級」の本があった。嬉しかった。お姉ちゃんはやっぱりお姉ちゃん。大好きで自慢のお姉ちゃん。



# 高校生

わたしのお弁当

わたしは毎日お弁当を持参しています。そのお弁当は、母の手作りのです。

私は毎日の朝練、放課後の部活で疲れていたのですが、母がご飯を作ってくれるのは当たり前だと思っていました。

夏休み、家庭科の宿題でご飯を作る機会があり、いざ自分でやってみると、意外に時間がかかり、早起きが実に大変なことに気づきました。

私のために毎朝時間をかけて、美味しいお弁当を作ってくれることに感謝し、「ありがとう」と伝えたと思います。



## やわづら妹

わたしはははしごと いそが まいにちつか  
 私の母は仕事で忙しく、毎日疲れた  
 顔で家に帰ってきます。そんな毎日を見  
 て妹は、いつもは我儘を言うにもかか  
 わらず、「お母さん、お疲れ様。」と自分の  
 好きなお菓子を手渡していました。

母はとても嬉しそいで、見ている私  
 で幸せな気持ちになりました。私も、  
 いつもお世話になっている人に感謝の気  
 持ちを忘れないようにしたいと思いま  
 す。

妹の姿を見て学ぶことがあります。  
 時には私も妹に姉としてのいい姿を  
 見せたいと思います。



# 高校生

駅で会った外国人の人

以前、名古屋に遊びに行ったら、駅道  
に迷っている外国人の人を見かけました。

私は英語が得意ではないので、助けよ  
うかどうかしようか悩んでいたら、一緒に  
いた友人が「話を聞いてみよう」と言  
ったので、思い切って話をしてみま  
した。

すると意外に会話が成り立ち、問題が  
解決しました。友人の一言で背中を押さ  
れ行動したことで、その人を笑顔にでき  
たことは、良い思い出になり、最後の「ア  
リガトウ」は今でも忘れられません。



# 高校生

優しい人 やさしいひと

塾からの帰り、駅に立っていた時のこと。私はそこでも優しい青年に会いました。

その人はお年寄りに目的地を尋ねられて道順を丁寧に教えてくれました。そこまでなら普通にありそうなことですが、そのお年寄りはお金が足りず、切符を買うことができませんでした。青年は、足りない分のお金を出して切符を買って持たせてあげました。

最近、人の優しさを感じる機会があまりないので、その出来事は私をいたく感動させました。







ぞうきんがけ

夏休みに入った時、子どもが、

「ねえお母さん、なんかひざが痛い

だ。」と言っているので、見てみると、画ひざ

が水ぶくれになっていました。

何をしたら画ひざがこんなふうにな

るのかなあと尋ねると、

「学校の掃除で、床をピカピカにした

んだ。みんなが気持ち良くなるように！」

と、少し考えながら笑顔で答える娘。

ひざをひいて、一生懸命ぞうきんがけ

をする娘の姿が目につかび、

嬉しく思いました。



# 「ちよひついで話」応募要領

## 1 募集内容

自分が体験した、あるいは自分の周りにあった心に残る「ちよひついで話」を2000字程度(以内)にまとめてください。

なお、下記のホームページアドレスから原稿用紙をダウンロードして使用していただいても結構です。(手書きのワープロは問いません)

人権施策推進課ホームページ：

岐阜県 人権

検索

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/kurashi-chiikidukuri/jinken/topic/topic.html>

## 2 応募資格

どなたでも応募できます。

## 3 応募期限

岐阜県公式ホームページ等でご確認ください。

## 4 応募方法

郵送、またはFAX、Eメールで応募してください。  
作品には必ずタイトルを付けてください。

## 5 応募規定・応募の際の注意事項

- ・応募は無料です。ただし、作品の送料は応募者側の負担となります。
- ・応募いただいた作品は返却しませんのでご了承ください。

・作品を紹介する際は、匿名での紹介となります。なお、作品中の個人を特定される部分は掲載しないか、作品の趣旨を損なわない範囲で一部修正することがありますのでご了承ください。

・個人情報については適切に管理し、目的外に本人の同意なく個人情報を開示しません。

・公序良俗に反する内容や不適切な表現がある場合は、閲覧での紹介を控えさせていただきます。

・応募された作品は啓発資料として冊子等やパネルを作成し、県が実施する様々なイベントにおいて紹介する場合があります。また、希望される県民の皆様に配布・貸与をする予定です。

・その他、応募された作品は、県が年4回発行する「人権だより」や県内市町村が発行する広報紙などで紹介させていただきます。

・作品についての著作権は応募者に帰属しますが、冊子等やパネルを作成し、配布・貸与することについて、あらかじめご了承ください。

・作品が応募された時点で、本書記載の規定・注意事項のすべてについて、承諾したものとみなします。

## 6 応募先・問い合わせ先

岐阜県環境生活部人権施策推進課

〒500-8570 岐阜市数田南2-1-1

TEL 058-272-8250

FAX 058-278-2615

Eメール c11227@pref.gifu.lg.jp

平成28年度 ちよつといい話

平成28年12月発行

編集 岐阜県環境生活部 人権施策推進課

〒500-8570

岐阜県岐阜市藪田南2-1-1

TEL 〇五八-二七二-八二五〇（直通）

FAX 〇五八-二七八-二六一五